

サポート

No. 153

平成30年6月28日発行

秋田県教育庁特別支援教育課 指導班

障害のある子どもの就学事務手続きの手引き ～早期からの切れ目ない支援の充実を目指して～

「Q&A 障害のある子どもの就学事務手続き」を、今年度リニューアルいたしました。（平成26年9月に発行したものはピンク色でしたが、この度、黄緑色の冊子に改訂しております。）就学や転学の際の事務手続きに御活用ください。

今回の改訂版には～早期からの切れ目ない支援の充実を目指して～というサブタイトルがあります。乳幼児期から成人期までの一貫した、教育相談体制の整備を進め、切れ目ない継続的な相談・支援の充実を目指しています。医療、保健、福祉、労働等の関係機関との連携の進め方や、就学相談の配慮等、就学支援（教育支援）に係る様々な疑問に応える手引として、活用してください。



就学や教育に関する相談会

7月から10月の期間、県内13会場において「就学や教育に関する相談会」を実施します（大館市は11月にも実施します）。昨年度の相談会では347件の相談があり、相談内容の6割が「就学に関するこ」でした。その他に「ことばや学習の遅れ、発達全体に関するこ」、「集団行動、性格、行動面等に関するこ」等がありました。

就学相談、教育相談においては、保護者と早い時期から相談を重ねていくことが大切です。この相談会は県と市町村教育委員会が共催し進めていきます。この相談会をきっかけとして、保護者や市町村教育委員会がつながり、就学に向けた具体的な取組が進むこと、就学後の教育支援が適切に行われることを目指しています。



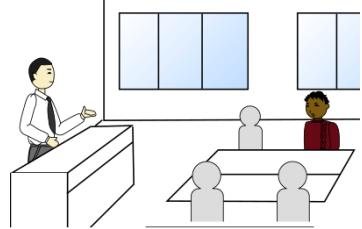
教育庁特別支援教育課のホームページに掲載しています。

特別支援学校関係会議等の紹介

6月に入り、各地区での会議が本格化してきました。今回は特別支援学校関係の会議等の様子を紹介します。

【第1回特別支援学校のセンター的機能推進協議会】

小・中学校等のニーズを踏まえた学校等への支援の在り方や「自校の課題解決」を促す情報提供の工夫等について協議しました。特別支援学校間のネットワークを機能させ、今後も各校の取組について情報を共有し、支援の充実を図っていくことを確認しました。



【授業改善プロジェクト基礎研修会Ⅰ】

今年度から2年間、授業改善プロジェクトでは「自立活動」を取り上げます。基礎研修Ⅰでは、各特別支援学校から16名が参加しました。講義・演習や協議を通して、「自立活動」の重要性を再確認するとともに、その指導に対する課題を共有しました。

【主任寄宿舎指導員連絡協議会】

寄宿舎運営の活性化のため、主任寄宿舎指導員により各校の取組や課題について協議しました。各校の特色の一つである「自治活動の充実」、そして「今後の寄宿舎運営」について熱心に議論を交わしました。「生活指導のスペシャリスト」として今後も子どもたちを支えていくことを確認しました。



おめでとうございます

栗田支援学校高等部環境・福祉科では、専門教科のコース別学習において、飲食提供コースで「ランチくりた」を営業しています。その営業を支える厨房の安全・衛生が秋田食品衛生協会から、食品衛生優良施設として表彰されました。学習の一環として徹底した清掃、消毒、道具管理に加え、生徒自身も日常的に健康管理などに気を付けているということです。3年中野辰哉さん、3年安田紫乃さんが表彰の報告に来課されました。

おめでとうございます。



「子供の読書活動優秀実践校」として視覚支援学校が文部科学大臣表彰を受賞されました。日頃の学校図書館の活用や読書活動が認められての表彰です。図書委員会の皆さんを中心とした今後の活躍にも期待が寄せられるところです。

おめでとうございます。

